

年間授業計画

板橋 高等学校 令和7年度

教科： 数学

科目： 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (大井・久保木・多田・長谷・宮崎)

使用教科書：(数研出版 新編 数学Ⅰ)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数と式、二次関数、三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と式、二次関数、三角比を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数と式、二次関数、三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数と式、二次関数、三角比の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数と式、二次関数、三角比について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と式、二次関数、三角比を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	数と式、二次関数、三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数と式、二次関数、三角比の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	数と式、二次関数、三角比について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 数と式の考え・記号を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 数と式に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数と式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 数と式の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 数と式に関する記号を適切に扱い、問題に取り組めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	7
	因数分解 【知識及び技能】 因数分解を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 因数分解を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	因数分解 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 因数分解の考え方を用いて、計算することができる。 【思考・判断・表現】 因数分解の応用を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	平方根 【知識及び技能】 平方根について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平方根を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	平方根 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 平方根の記号を理解し、適切に使うことができる。 【思考・判断・表現】 平方根について様々な計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
	1次不等式 【知識及び技能】 1次不等式を理解し、計算する。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式を用いて様々な問題を解く。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	1次不等式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 1次不等式の考え方を用いて、解くことができる。 【思考・判断・表現】 文章題を読み、一次不等式を用いて計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2次関数(1) 【知識及び技能】 放物線を理解し、2次関数のグラフを書く。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(1) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 放物線を理解し、2次関数のグラフを書くことができる。 【思考・判断・表現】 平方完成を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	2次関数(2) 【知識及び技能】 2次関数の最大最小を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大最小を適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(2) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 2次関数の最大最小を理解できる。 【思考・判断・表現】 2次関数の最大最小を計算し、様々な問題に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3 学 期	2次関数(3) 【知識及び技能】 2次方程式・不等式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式・不等式を正確に把握し、適切に計算する。また、それらの考えを様々な問題に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(3) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 2次方程式・不等式を理解できる。 【思考・判断・表現】 2次方程式・不等式を正確に把握し、適切に計算することができている。また、2次不等式を用いた様々な問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	三角比 【知識及び技能】 三角比の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ三角比の性質を用いて、様々な角度や辺の長さを計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	三角比 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 三角比の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 三角比の性質を用いて、問題に取り組み、角度や辺の長さを計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	正弦定理・余弦定理 【知識及び技能】 正弦定理・余弦定理の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形をかくことで、辺や角度を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	正弦定理・余弦定理 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 正弦定理・余弦定理を3考えることができる。 【思考・判断・表現】 図形をかくことで、辺や角度を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	データの分析 【知識及び技能】 データの分析に用いる記号を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なグラフからデータを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	データの分析 教科書・問題集を用いて指導する。	データの分析 【知識及び技能】 データの分析に用いる記号を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なグラフからデータを読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
							合計
							105

年間授業計画

板橋 高等学校 令和7年度

教科： 数学

科目： 数学A

教 科： 0 科 目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（大井・長谷・伊東・御園）

使用教科書：（数研出版 新編 数学A

）

教科 0 の目標：

- 【知識及び技能】 場合の数と確率・図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、場合の数と確率を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数と確率・図形の性質を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、場合の数と確率の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数と確率・図形の性質について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率・図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、場合の数と確率を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	場合の数と確率・図形の性質を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、場合の数と確率の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	場合の数と確率・図形の性質について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	集合 【知識及び技能】 集合の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	集合 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 集合の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 集合に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	5
	集合の要素の個数 【知識及び技能】 集合の要素の個数を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	集合の要素の個数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 集合の考え方を活用して、集合の要素の個数を考えることができる。 【思考・判断・表現】 集合の要素の個数を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	場合の数 【知識及び技能】 樹形図・和の法則・積の法則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 樹形図・和の法則・積の法則を用いて場合の数を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	場合の数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 樹形図・和の法則・積の法則を用いて、場合の数を考えることができる。 【思考・判断・表現】 樹形図・和の法則・積の法則を用いて、場合の数を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
	順列 【知識及び技能】 順列・円順列・重複順列を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・円順列・重複順列を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	順列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 順列・円順列・重複順列を用いて、順列を考えることができる。 【思考・判断・表現】 順列・円順列・重複順列を用いて、順列を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	組合せ 【知識及び技能】 組合せを理解し、様々な組み合わせの問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 組合せと順列の違いを正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	組合せ 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 組合せを理解し、様々な問題に対応できている。 【思考・判断・表現】 組合せと順列の違いを正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	確率（1） 【知識及び技能】 確率の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象に対して、確率の計算をする。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	確率（1） 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 確率の考え方を理解し、様々な事象の確率を計算できる。 【思考・判断・表現】 文章を読みとり、その事象の確率を計算できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

	確率（２） 【知識及び技能】 独立な試行の確率・反復試行の確率・条件付確率など様々な確率を計算する 【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象に対して、どのように計算したら良いかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	確率（２） 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 様々な試行の確率を理解し、計算できる。 【思考・判断・表現】 文章を読みとり、その事象の確率を的確に判断し、計算できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	平面図形 【知識及び技能】 様々な図形の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ図形の性質を用いて、様々な角度や辺の長さを計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	平面図形 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 様々な図形の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 学んだ図形の性質を用いて、問題に取り組み、角度や辺の長さを計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	8
	空間図形 【知識及び技能】 様々な図形を3次元空間で考える。 【思考力、判断力、表現力等】 タブレットを用いて、空間図形を作図する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	空間図形 教科書・タブレットを用いて指導する。	【知識・技能】 様々な図形を3次元空間で考えることができる。 【思考・判断・表現】 タブレット端末を用いて、空間図形を作図できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	数学と人間の活動 【知識及び技能】 様々な図形を3次元空間で考える。 【思考力、判断力、表現力等】 タブレットを用いて、空間図形を作図する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	空間図形 教科書・タブレットを用いて指導する。	【知識・技能】 様々な図形を3次元空間で考えることができる。 【思考・判断・表現】 タブレット端末を用いて、空間図形を作図できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	5
							合計
							70

年間授業計画

板橋 高等学校 令和7年度

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (吉江・久保木・御園・宮崎・伊東・長谷)

使用教科書：(数研出版 新編 数学Ⅱ)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法、についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法について、数字の良さを認識し積極的に数字を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分積分法について、数字の良さを認識し積極的に数字を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	三角関数 【知識及び技能】 三角関数の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】	三角関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 三角関数の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	三角関数 【知識及び技能】 三角関数の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】	三角関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 三角関数の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	式と証明 【知識及び技能】 整式の除法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 整式の除法を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	式と証明 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 整式の除法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 整式の除法を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	式と証明 【知識及び技能】 高次方程式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高次方程式を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	式と証明 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 高次方程式の考え方をを用いて、解くことができる。 【思考・判断・表現】 高次方程式の文章題を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学 期	図形と方程式 【知識及び技能】 直線を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 直線の方程式を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	図形と方程式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 直線を理解できる。 【思考・判断・表現】 直線を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	図形と方程式 【知識及び技能】 円の方程式を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 円の方程式を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	図形と方程式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 円の方程式を理解できる。 【思考・判断・表現】 円の方程式を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学 期	指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	指数関数・対数関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 指数関数・対数関数を理解できる。 【思考・判断・表現】 指数関数・対数関数を正確に把握し、適切に計算することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	微分積分法 【知識及び技能】 微分法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ微分法の性質を用いて、様々な計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	微分積分法 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 微分法を理解している。 【思考・判断・表現】 微分法を用いて、問題に取り組み、計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	微分積分法 【知識及び技能】 積分法の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 積分法を用いて面積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	微分積分法 教科書・タブレットを用いて指導する。	【知識・技能】 積分法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 グラフをかくことで、面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
							合計
							140

教科・科目		数学・数学 B					単位数		2単位	
							対象学年		2学年	
担当者		1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組		
		伊東			伊東	伊東	吉江	吉江		
教科書		新編 数学 B 数研出版								
補助教材										
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。		数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			
科目の目標		数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。		数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数	
1 学期	数列	知 考え方と表し方を理解できている。			等差数列	知 考え、記号を理解している。		〇〇〇	4	
		思 記号を適切に使用し表現できる。				思 記号を適切に扱い問題に取り組めている。				
		学 真剣に授業に取り組んでいる。				態 真剣に授業に取り組んでいる。				
	数列	知 考え方と表し方を理解できている。			等比数列	知 考え、記号を理解している。		〇〇〇	6	
		思 記号を適切に使用し表現できる。				思 記号を適切に扱い問題に取り組めている。				
		学 真剣に授業に取り組んでいる。				態 真剣に授業に取り組んでいる。				
	中間考査								〇〇	1
	数列	知 考え方と表し方を理解できている。			和の記号	知 考え、記号を理解している。		〇〇〇	6	
		思 記号を適切に使用し表現できる。				思 記号を適切に扱い問題に取り組めている。				
		学 真剣に授業に取り組んでいる。				態 真剣に授業に取り組んでいる。				
	数列	知 考え方と表し方を理解できている。			いろいろな数列	知 考え、記号を理解している。		〇〇〇	6	
		思 記号を適切に使用し表現できる。				思 記号を適切に扱い問題に取り組めている。				
		学 真剣に授業に取り組んでいる。				態 真剣に授業に取り組んでいる。				
	期末考査								〇〇	1

2 学期	数列	知 考え方と表し方を理解できている。	漸化式	知 考え、記号を理解している。	〇〇〇	8
		思 漸化式から一般項を求められる。		思 記号を適切に扱い問題に取り組めている。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	数列	知 考え方と表し方を理解できている。	帰納法	知 考え、記号を理解している。	〇〇〇	5
		思 帰納法を用いて証明ができる。		思 記号を適切に扱い証明できる。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	中間考査				〇〇	1
	統計的な推測	知 確率分布と期待値の定義の理解。	確率分布と期待値	知 考え、記号を理解している。	〇〇〇	9
		思 期待値を求めることができる。		思 期待値の計算ができる。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	統計的な推測	知 分散・標準偏差の定義の理解。	分散・標準偏差	知 考え、記号を理解している。	〇〇〇	5
		思 分散・標準偏差の計算ができる。		思 分散・標準偏差の計算ができる。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1
3 学期	統計的な推測	知 標本平均について理解している。	標本平均を用いた推定	知 定義や表し方を理解している。	〇〇〇	9
		思 母集団から期待値などを計算する。		思 標本平均から推定ができる。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	統計的な推測	知 いろいろな推定を理解している。	いろいろな推定	知 推定の方法、しくみを理解している。	〇〇〇	7
		思 信頼区間や検定ができる。		思 いろいろな推定ができる。		
		学 真剣に授業に取り組んでいる。		態 真剣に授業に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

年間授業計画

板橋 高等学校 令和7年度

教科： 数学

科目： 数学C

教 科： 数学 科 目： 数学C

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (吉江)

使用教科書： (新編数学C)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】ベクトルと社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、ベクトルを用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】ベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、ベクトルを用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】ベクトルについて、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学C

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、ベクトルを用いて事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	ベクトルを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、ベクトルを用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	ベクトルについて、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルの考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルに関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 ベクトルの考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 ベクトルに関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	ベクトルと平面図形 【知識・技能】 平面上のベクトルの考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 ベクトルを用いて様々な平面上の図形問題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 平面上のベクトルの考えを理解している。 【思考・判断・表現】 ベクトルを用いて様々な平面上の図形問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	ベクトルと空間図形 【知識・技能】 空間上のベクトルの考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 ベクトルを用いて様々な空間上の図形問題に取り組むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 空間上のベクトルの考えを理解している。 【思考・判断・表現】 ベクトルを用いて様々な空間上の図形問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 35

教科・科目		数学 ・ 数学Ⅲ					単位数		4単位	
							対象学年		3学年	
担当者		C枠	W枠							
		多田 志織	多田 志織							
教科書		新編数学Ⅲ （数研出版）								
補助教材		数研出版 基本と演習のテーマ 数学Ⅲ								
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		数学についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するし、活用できるようになる。			数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、表現できる力を身に付ける。			数学について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を身に付け、問題を解決しようとする。		
科目の目標		数学Ⅲの分野を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数学Ⅲの発展的に考察する力と、必要なものを判断する力と、数学の式を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。			数学Ⅲの内容を学び、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	関数	知 関数を扱えるようになる			分数関数、無理関数、逆関数と合成関数	知 関数を扱うことが出来る		〇〇〇	12	
		思 関数を考え、表現する				思 関数を表現することが出来る				
		学 関数を用いて課題を解決する				態 関数を用いて課題を解決出来る				
	極限	知 極限を扱えるようになる			数列の極限、無限等比数列、無限級数、関数の極限 導関数	知 極限を扱うことが出来る		〇〇〇	18	
		思 極限を考え、表現する				思 極限を表現することが出来る				
		学 極限を用いて課題を解決する				態 極限を用いて課題を解決出来る				
	中間考查							〇〇		
	微分法	知 微分法を扱えるようになる			いろいろな関数の導関数	知 微分法を扱うことが出来る		〇〇〇	18	
		思 微分法を考え、表現する				思 微分法を表現することが出来る				
		学 微分法を用いて課題を解決する				態 微分法を用いて課題を解決出来る				
	微分法の応用	知 グラフを扱えるようになる			導関数の応用・いろいろな応用	知 グラフを扱うことが出来る		〇〇〇	20	
		思 グラフを考え、表現する				思 グラフを表現することが出来る				
		学 グラフを用いて課題を解決する				態 グラフを用いて課題を解決出来る				
	期末考查							〇〇		

2 学期	積分法	知 積分法を扱えるようになる	不定積分	知 積分法を扱うことができる	〇〇〇	16
		思 積分法を考え、表現する		思 積分法を表現することができる		
		学 積分法を用いて課題を解決する		態 積分法を用いて課題を解決出来る		
	積分法	知 積分法を扱えるようになる	定積分	知 積分法を扱うことができる	〇〇〇	16
		思 積分法を考え、表現する		思 積分法を表現することができる		
		学 積分法を用いて課題を解決する		態 積分法を用いて課題を解決出来る		
	中間考査				〇〇	
	積分法と その応用	知 積分法を扱えるようになる	積分法の応用	知 積分法を扱うことができる	〇〇〇	16
		思 積分法を考え、表現する		思 積分法を表現することができる		
		学 積分法を用いて課題を解決する		態 積分法を用いて課題を解決出来る		
	積分法と その応用	知 積分法を扱えるようになる	積分法の応用	知 積分法を扱うことができる	〇〇〇	16
		思 積分法を考え、表現する		思 積分法を表現することができる		
		学 積分法を用いて課題を解決する		態 積分法を用いて課題を解決出来る		
	期末考査				〇〇	
3 学期	入試問題演習	知 数学III全体の基礎を復習する 思 数学III全体の問題を発展的に考察する 学 数学IIIの入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習	知 数学III全体の基礎を復習できた 思 数学III全体の問題を発展的に考察できた 学 数学IIIの入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	8
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		数学 ・ 数学C					単位数		2単位	
							対象学年		3学年	
担当者		Y枠								
		大井晃史								
教科書		新編数学C （数研出版）								
補助教材		数研出版 基本と演習のテーマ 数学C								
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		数学についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するし、活用できるようになる。			数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、表現できる力を身に付ける。			数学について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を身に付け、問題を解決しようとする。		
科目の目標		数学Cの分野を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数学Cの発展的に考察する力と、必要なものを判断する力と、数学の式を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。			数学Cの内容を学び、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	ベクトル	知 位置ベクトルを扱えるようになる			位置ベクトル ベクトル方程式	知 位置ベクトルを扱えるようになる		〇〇〇	10	
		思 位置ベクトルを考え、表現する				思 位置ベクトルを考え、表現する				
		学 位置ベクトルを用いて課題を解決する				学 位置ベクトルを用いて課題を解決する				
	中間考查							〇〇		
	ベクトル	知 空間ベクトルを扱えるようになる			空間ベクトル 空間座標	知 空間ベクトルを扱えるようになる		〇〇〇	10	
		思 空間ベクトルを考え、表現する				思 空間ベクトルを考え、表現する				
		学 空間ベクトルを用いて課題を解決する				学 空間ベクトルを用いて課題を解決する				
	複素数平面	知 複素数平面を扱えるようになる			複素数平面 極形式	知 複素数平面を扱えるようになる		〇〇〇	10	
		思 複素数平面を考え、表現する				思 複素数平面を考え、表現する				
		学 複素数平面を用いて課題を解決する				学 複素数平面を用いて課題を解決する				
	期末考查							〇〇		

2 学期	複素数平面	知 複素数平面を扱えるようになる	複素数平面 ド・モアブルの定理	知 複素数平面を扱えるようになる	〇〇〇	9
		思 複素数平面を考え、表現する		思 複素数平面を考え、表現する		
		学 複素数平面を用いて課題を解決する		学 複素数平面を用いて課題を解決する		
	複素数平面	知 複素数平面を扱えるようになる	複素数平面 ド・モアブルの定理	知 複素数平面を扱えるようになる	〇〇〇	11
		思 複素数平面を考え、表現する		思 複素数平面を考え、表現する		
		学 複素数平面を用いて課題を解決する		学 複素数平面を用いて課題を解決する		
	中間考査				〇〇	
	2次曲線	知 2次曲線を扱えるようになる	楕円 双曲線	知 2次曲線を扱えるようになる	〇〇〇	10
		思 2次曲線を考え、表現する		思 2次曲線を考え、表現する		
		学 2次曲線を用いて課題を解決する		学 2次曲線を用いて課題を解決する		
	2次曲線	知 2次曲線を扱えるようになる	媒介変数表示	知 2次曲線を扱えるようになる	〇〇〇	10
		思 2次曲線を考え、表現する		思 2次曲線を考え、表現する		
		学 2次曲線を用いて課題を解決する		学 2次曲線を用いて課題を解決する		
	期末考査				〇〇	
3 学期	入試問題演習	知 数学C全体の基礎を復習する 思 数学C全体の問題を発展的に考察する 学 数学Cの入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習	知 数学C全体の基礎を復習できた 思 数学C全体の問題を発展的に考察できた 学 数学Cの入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		数学 ・ 演習数学Ⅰ					単位数		3単位		
							対象学年		3学年		
担当者		1 ・ 2 ・ 3 組		4 ・ 5 ・ 6 組							
		御園 風水		御園 風水							
教科書		なし									
補助教材		新課程 ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・A									
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		数学についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するし、活用できるようになる。			数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、表現できる力を身に付ける。			数学について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を身に付け、問題を解決しようとする。			
科目の目標		数学ⅠAの分野を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数学ⅠAの発展的に考察する力と、必要なものを判断する力と、数学の式を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。			数学ⅠAの内容を学び、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。			
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数	
1学期	数と式	知 数と式の基礎を復習する 思 数と式を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む			入試問題演習及び復習		知 数と式の基礎を復習できた 思 数と式を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	10	
	2次関数	知 2次関数の基礎を復習する 思 2次関数を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む			入試問題演習及び復習		知 2次関数の基礎を復習できた 思 2次関数を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	14	
	中間考査								〇〇		
	2次関数	知 2次不等式の基礎を復習する 思 2次不等式を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む			入試問題演習及び復習		知 2次不等式の基礎を復習できた 思 2次不等式を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	12	
	三角比	知 三角比の基礎を復習する 思 三角比を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む			入試問題演習及び復習		知 三角比の基礎を復習できた 思 三角比を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	16	
	期末考査								〇〇		

2 学期	場合の数	知 場合の数の基礎を復習する 思 場合の数を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習及び復習	知 場合の数の基礎を復習できた 思 場合の数を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	10
	確率	知 確率の基礎を復習する 思 確率を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習及び復習	知 確率の基礎を復習できた 思 確率を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	15
	中間考査				〇〇	
	図形の性質	知 図形の性質の基礎を復習する 思 図形の性質を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習及び復習	知 図形の性質の基礎を復習できた 思 図形の性質を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	12
	整数	知 整数の基礎を復習する 思 整数を発展的に考察する 学 入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習及び復習	知 整数の基礎を復習できた 思 整数を発展的に考察することができた 学 入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	12
	期末考査				〇〇	
3 学期	入試問題演習	知 数学ⅠA全体の基礎を復習する 思 数学ⅠA全体の問題を発展的に考察する 学 数学ⅠAの入試問題に意欲的に取り組む	入試問題演習及び復習	知 数学ⅠA全体の基礎を復習できた 思 数学ⅠA全体の問題を発展的に考察することができた 学 数学ⅠAの入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	4
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		数学・教養数学					単位数		2 単位	
							対象学年		3学年	
担当者		A選択								
		御園 風水								
教科書		なし								
補助教材		完全攻略 新版 高校生のSPI問題集								
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		数学についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するし、活用できるようになる。			数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、表現できる力を身に付ける。			数学について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を身に付け、問題を解決しようとする。		
科目の目標		数学を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。			数学の発展的に考察する力と、必要なものを判断する力と、数学の式を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。			数学の内容を学び、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	言語分野①	知 基礎を復習する 思 発展的に考察する 学 問題に意欲的に取り組む			問題演習及び復習		知 基礎を復習できた 思 発展的に考察することができた 学 問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	14
	中間考査								〇〇	
	言語分野②	知 基礎を復習する 思 発展的に考察する 学 問題に意欲的に取り組む			問題演習及び復習		知 基礎を復習できた 思 発展的に考察することができた 学 問題に意欲的に取り組んでいた		〇〇〇	16
	期末考査								〇〇	

2 学期	非言語分野①	知 基礎を復習する 思 発展的に考察する 学 問題に意欲的に取り組む	問題演習及び復習	知 基礎を復習できた 思 発展的に考察することができた 学 問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	18
	中間考査				〇〇	
	非言語分野②	知 基礎を復習する 思 発展的に考察する 学 問題に意欲的に取り組む	問題演習及び復習	知 基礎を復習できた 思 発展的に考察することができた 学 問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	18
	期末考査				〇〇	
3 学期		知 高校数学の基礎を復習する 思 高校数学の問題を発展的に考察する 学 SPI問題に意欲的に取り組む	問題演習及び復習	知 高校数学の基礎を復習できた 思 高校数学の問題を発展的に考察することができた 学 高校数学の入試問題に意欲的に取り組んでいた	〇〇〇	4
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度